

戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業
平成23年度概算要求額 15.8億円（アクションプラン該当部分はその内数）

事業の内容

事業の概要・目的

○ 2050年の温室効果ガス大幅削減目標達成に向けた次世代バイオマスエネルギーの利用技術開発

I 次世代技術開発

「Cool Earth-エネルギー革新技术計画」（2008年3月経済産業省）において、2030年頃の実用化を見据えるバイオマスのガス化及び液体化（BTL）、微細藻類由来のバイオ燃料製造技術開発等の次世代技術開発を実施する。

II 実用化技術開発

「エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律」の施行によるガス及び燃料供給事業者への非化石エネルギー導入義務付けをにらみ、バイオマス由来の気体および液体燃料の円滑な導入に資する技術の実用化技術開発も実施する。

【本事業の目標】

○食料生産と競合しないバイオマス利用技術開発による燃料製造コストの低減（2030年に40円/ℓ）及び既存のバイオマスガス化等技術のコスト削減を通じたバイオマスエネルギーの導入量拡大。

事業イメージ

I 次世代技術開発(例)



II 実用化技術開発(例)

